

系統性を踏まえた社会科・地理歴史科・公民科研修講座
8月5日, 11月7日の2日間 募集人数60人
対象校種 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

小・中・高の公民（主権者教育）の
 つながりについて考えてみませんか？



第1日 8月5日（月）

講義

「主体的な社会参画に必要な力を育む学習指導の在り方～系統性を踏まえた主権者教育に向けて～」

講師 総務省

主権者教育アドバイザー

- ☆ 新学習指導要領を踏まえた授業づくりについて理解することができます。
- ・新学習指導要領で示された「主権者教育」って、なに？
- ・「主体的な社会参画に必要な力」とはということ？

（小・中・特別支援学校部会）

演習・研究協議

「社会参画の態度を育むための社会科の在り方」

（中・高・特別支援学校部会）

演習・研究協議

「新設科目『公共』の学習指導に向けて」

※「現代社会の見方・考え方」とは

社会的事象を政治，法，経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え，よりよい社会の構築に向けて，課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などに関連付けて働かせるものと考えられる。

（参考「中学校学習指導要領解説 社会編 平成29年7月」より）

第2日 11月7日（木）

実践発表・研究協議

「主体的な社会参画に必要な力を育む授業の実際」

- ☆ 1日目で作成した構造図・単元計画等を基にした授業実践についての研究協議を通して，新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりや，学校段階で求められる公民（主権者教育）学習の授業づくりについて理解することができます。
- ・実践例を比較することで，小・中学校，高等学校における公民（主権者教育）学習の違いを理解することができます。
- ・様々な校種の実践例から，小・中学校，高等学校の公民（主権者教育）学習における児童生徒の「主体的な社会参画に必要な力」を育成する手立てを学ぶことができます。